



第54号

発行

足利市大前町268-1

足利工業大学後援会

# ご挨拶



足利工業大学後援会 会長

前原 剛

足利工業大学後援会会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災により甚大な被害を受けました。一日でも早い復興を願ひ、被災された方々にお見舞い申し上げます。

本会の目的は、学生達の学生生活を守り支援し援助をすること、また、大学教育に理解を深め、施設、設備の充実、改善のため協力することです。この目的を達成出来るように年間約6回の理事会を行い活動をしていきます。

学生達への支援の内容としまして、研究活動、クラ

ブ活動、学生自治会活動、大学祭などの援助、また、就職に関する各種ガイダンスや、情報資格試験、各種キャリア資格試験などの支援、一〇〇円朝食サービスの補助などを行っています。昨年は、上海万博や北京を見学する中国学生研修旅行を実施しました。今年度は、マレーシア研修旅行。コタキナバル&クアラルンプール、JICA連携による国際協力体験プログラムを計画しています。多くの学生の参加を希望しています。

後援会会員の皆様に大学を見ていただきたい、大学を知っていただきたいと思

います。

後援会の総会では、後援会の事業報告、決算報告などを、会員の皆様にご審議していただいております。後援会は、総会が年度の切り替えであり新年度のスタートとなります。

教育相談会では、学生の単位の修得状況や学生達の生活の様子などを知る為にもぜひ参加していただきたいと思います。

そして、学生達の主体により開催されます大学祭「わたらせ祭」があります。学生達の日頃の研究発表またはクラブ、サークル等の活動発表や様々な催し物など、学生達の生き生きとした笑顔を見るのも楽しみです。

この三つの事業は、後援会、大学、学生、それぞれが主体となる、大きな事業です。ぜひとも会員の皆様には、参加し見学していただきご意見ご感想を後援会までお寄せください。より良い後援会作りには皆様の御協力をお願い致します。

後援会退会役員》

副会長：周東 芳子  
副会長：須藤 陽治  
会 計：田邊美紀子  
理 事：本島 孝文  
理 事：田中 好司

（敬称略）



後援会総会



新役員紹介

# 「第二の開学」で、魅力ある大学に



足利工業大学学長  
牛山 泉

本学は創立以来四十四年目を迎えました。社会の要請にこたえる魅力ある大学とすべく、学科の再編に取り組んでまいりました。本年度から新学系がスタートしましたが、これにより本学の存在意義をより確かなものにしてまいりたいと願っております。

さて、今年三月十一日の東日本大震災と津波により、多数の犠牲者が生まれました。それに福島原子力発電所の深刻な事故が拍車をかけており、日本は大きな国難に遭遇しており、いまは政治も経済も、そして教育も完全に混沌としております。

ルンドウイの始めた国民高等学校も忘れられません。本来、大学はそれぞれの役割に応じて、有能な人材を社会に送り出す使命があると信じております。本学は、今こそ建学の理念に立ち返って和の精神に基づいた「人間力豊かな心あるエンジニア」と言っていただけならば、従来の増して、きめ細かい生活指導や教育指導を行なうて参りたいと思っております。

## 「大学の目指すもの」



足利工業大学副学長  
蟹江 好弘

去る七月九日の後援会総会へ出席させていただき、後援会の皆様や新旧役員の方々とお会いすることができました。後援会からは毎年物心両面にわたる手厚いご支援をいただいております。ご支援をいただいております。心から厚く御礼申し上げます。本学は開学以来四十三年間にわたり、工学部五学科の体制で教育研究を進めて参りました。そして約二万人の卒業生を社会へ送り出し、工業系単科大学として一定の役割を果たしてきたと思っております。この度、社会や受験生からの要望を受け、今年四月から工学部創生工学科一学科、五学系、十一コースを擁する教育研究体制に改編致しました。これを要約しますと機械+電気電子、建築+都市環境、そしてシステム工学という既存五学科の統合を図り、複合的工学分野に再構築したこと、自然エネルギー・環境、生命システムという時代の求める分野を創設したことです。この体制により、人間力に富んだ「心あるエンジニア」の育成を進めて参ります。各学系・コースにおける最先端の教育を行って参ります。

ですが、入学してくる多様な学生に対して、習熟度別・少人数教育を進め、学生達が満足できる教育を行います。学習面で悩みのある学生に対しては、専任講師やチューターを揃えた学習支援センターでの支援、各研究室を開いたオフィスアワー等によって支援を行います。他方、学生達が一日の大半を過ごす学園生活に配慮し、学生の健康管理、生活相談、悩み事相談（カウンセリング）等をクラス担任・カウンセラーを中心に行なって参ります。

## 新体制における教育システム



教務委員長  
庄司 和男

本学では、この四月から創生工学科がスタートし、新体制となりました。それ

時から九時三〇分に変更した点です。これは、自宅通学者の交通の便を考慮しての変更です。また、正課授業を四コマ（十六時四〇分）までとしました。これは、サークル活動や委員会活動などに参加できるように時間的環境を改善し、学生個々が学生生活を通してしっかりと人間形成をできるようにするためです。

以上に加え、新入生については、専門・教養課程教員全員による導入教育およびキャリア教育のための基礎力を身につけることを目的としたゼミナールを開設しています。また、専門基礎知識を幅広く身につけること、および学系・コース選択のための情報提供を目的として、学系毎に二つの概論を開設しています。そして最も大きな教育システムの変更点は、「履修登録単位数の上限制度」（以下、CAP制と略）の導入です。CAP制とは、学生が各学

# 学生の現状と支援 — 学生指導委員会の活動を中心に —



学生指導委員長  
大須 泰治

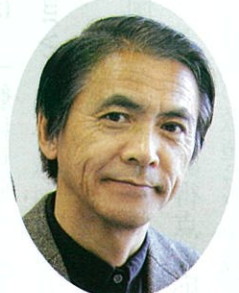
後援会様には、日頃より学生の福利厚生や学内の環境整備に多大なご支援をいただき、衷心より感謝の意を表します。

大学で学ぶ四年間は学問の研鑽を積み、実社会へ向けて更なる人格の形成に努める時間であり、また人生の進路を決めるための重要な期間でもあります。つまり、本学での生活は「知」「徳」「体」の調和がとれた豊かな人間性を培い、社会に適応できる「心あるエンジニア」を目指すための時間なのです。

率先して職業指導を行っています。しかし、このように職業指導を行っていても就職活動に消極的な学生は意外に多いと感じています。他大でも同じ悩みを抱えていると聞いておりますが、幸いなことに本学では三年次ゼミと卒業研究が必修科目となっており、教員は毎日のように学生と接しております。このような学生に対して指導教員は就業意欲を持たせるようきめ細かな指導を行い、未就職者を極力減らすよう努めています。



好会部会長会議（年二回）の開催や学内球技大会および大学祭のサポート等により、課外活動の活性化を図っています。また、研究活動や部活動ならびに奉仕活動等に対して功績の認められた学生を、学長一般表彰に推薦します。その他には人物・学業成績ともに優秀な学生の就学を助成するために、特待生・奨励生の選考を行います。



就職指導委員長  
和田 昇三

## 内定率アップをめざして

生活指導および支援については、「モバイル出席システム」による連続欠席学生の早期発見および指導、健康診断の実施、学生相談室（カウンセリング）および体力づくり相談室（心と体の健康づくり）を開設しています。二〇一〇年度の体力づくり相談室では、運動・栄養・休養面からみた健康の維持・増進に対するアドバイスと実践指導を行いました。利用者の主な目的は高血圧、肥満、腰痛の改善、筋力アップ、スタミナの向上等であり、その中でも継続して実施している利用者

◆平成23年度 教育相談会について◆

足利工業大学では毎年夏期休業期間を利用して、保護者の方に学生の実情を知っていただくことを目的とした教育相談会を開催しております。この企画は、本学の教職員が、学生たちの勉学状況や成績等をご報告すると共に、ご要望・ご質問等のご相談に個別に応じるというものです。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加ください。また、できればご息子ご息女をご同伴くだされば、より一層の教育的効果があるかと思えます。

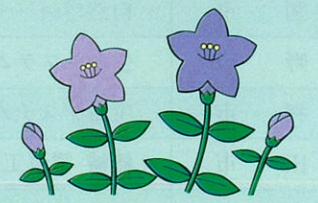
なお、教育相談会にご参加の際には、8月22日本学発送の保護者様宛、成績通知書をご持参くださいますようお願いいたします。

教育相談会  
平成23年9月11日（日）  
会場：足利工業大学 学生ホール2階  
受付時間 9:00～13:30

出席を希望される方は、8月上旬に送付しました「教育相談会開催のご案内」に同封の葉書をご返信ください。

〈9月11日（日）「スクールバス時刻表」〉			
大学発 足利市駅	行	東武足利市駅発 大 学 行	JR山前駅発 大 学 行
	7		
50	8		
45	9	10	20
55	10	05	15
	11	15	25
	12	40	56
	13		
00	14	15	25
20	15		

※大学発はJR山前駅経由足利市駅行



平成22年度  
足利工業大学後援会収支決算書  
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

## 収入の部

(単位 円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
前年度繰越金	8,243,926	8,243,926	0	
会費	30,250,000	30,900,000	650,000	@25,000円
雑収入	100,000	152,070	52,070	学生災害傷害保険移動返還金
計	38,593,926	39,295,996	702,070	

## 支出の部

(単位 円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
1 運営費	2,950,000	2,222,670	△ 727,330	
会議費	1,400,000	1,062,885	△ 337,115	後援会総会・理事会等諸費用
事務費	300,000	260,000	△ 40,000	事務費一般
印刷費	250,000	157,080	△ 92,920	後援会会報印刷代・封筒代
通信費	1,000,000	742,705	△ 257,295	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・[AIT通信]発送費他
2 学生助成費	29,700,000	24,528,445	△ 5,171,555	
学生研究補助費	900,000	816,780	△ 83,220	卒業研究等補助
クラブ援助費	13,500,000	10,914,504	△ 2,585,496	クラブ活動援助費
学生活動費	6,700,000	6,088,667	△ 611,333	学生自治会援助金・大学祭援助
入学・卒業記念費	3,500,000	3,426,360	△ 73,640	入学記念集合写真費・卒業記念アルバム作成費
海外研修費	3,600,000	1,810,934	△ 1,789,066	上海万博中国学生研修旅行補助・UIS参加学生への支援費
保険料	1,500,000	1,471,200	△ 28,800	学生災害傷害保険料
3 教育助成費	4,900,000	4,758,494	△ 141,506	
就職推進補助費	2,000,000	1,967,997	△ 32,003	保護者のための就職応援ブック500部・資格支援費他
厚生事業費	500,000	443,347	△ 56,653	教育相談会慰労会費用
教育環境援助費	1,500,000	1,500,000	△ 0	屋外テーブルイス(30セット)の補修費用
その他の厚生費	900,000	847,150	△ 52,850	情報処理技術者試験補助・朝食補助他
4 慶弔費	700,000	445,000	△ 255,000	入学式献花代・学生香典他
5 雑費	100,000	0	△ 100,000	
6 予備費	243,926	0	△ 243,926	
7 次年度繰越金	0	7,341,387	7,341,387	
計	38,593,926	39,295,996	702,070	

上記のとおり相違ありません。

平成23年3月31日  
足利工業大学後援会 会計 田邊美紀子

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

平成23年6月11日  
足利工業大学後援会 監事 柿沼義人  
監事 荒井誠司

## 学事歴

8月 6日～	夏期休業(9/19まで)	12月 13日	成道会(午後休講)
11日～17日	エコ休業期間(完全休業・入構禁止)		定期学生総会
9月 11日	教育相談会	21日	月曜日授業
20日～24日	節電休講	24日	土曜日授業実施
26日	全学ガイダンス	26日～	冬期休業(1/9まで)
	個別履修プログラム(10/1まで)	29日～	エコ休業期間(完全休業1/4まで)
	履修登録期間(10/3まで)	1月10日	授業開始(午前休講)
27日	授業開始	12日	月曜日授業
10月 8日	大学祭準備(全日休講)	13日～14日	全日休講
	大学祭前夜祭	16日	全日休講
9日～10日	大学祭(全日休講)	2月29日	卒業判定会議
11日	大学祭後片付け(全日休講)	3月19日	学位授与式

節電対策の一環として、後期日程が当初予定から変更になっています。  
学生のみなさんは、大学の掲示板でも確認するようにしてください。

## 平成23年度 足利工業大学後援会役員名簿

	役職	氏名	所在市	学生所属学科・学系	学年
1	会長	前原 剛	足利市		
2	副会長	小野 幸作	足利市	建築	4年
3	副会長	荒井 誠司	足利市	システム情報工	4年
4	副会長	茂木 岳幸	桐生市	システム情報工	2年
5	会計	萩原 雄司	桐生市	電気電子工	2年
6	監事	柿沼 義人	佐野市	機械工	4年
7	監事	松浦 里江子	足利市	機械工	3年
8	監事	前原 牧子	桐生市	電気電子工	3年
9	監事	池澤 佳代	佐野市	システム情報工	3年
10	理事	松橋 昭子	伊勢崎市	電気電子工	4年
11	理事	塚越 直巳	高崎市	都市環境工	4年
12	理事	今井 幸子	太田市	建築	3年
13	理事	橋本 彰子	伊勢崎市	都市環境工	3年
14	理事	今井 和男	太田市	機械工	2年
15	理事	三田 康子	足利市	建築	2年
16	理事	渡邊 郁世	太田市	都市環境工	2年
17	理事	野村 馨子	下都賀郡	都市環境工	2年
18	理事	小沼 久美子	足利市	自然エネルギー・環境	1年
19	理事	青木 愛子	佐野市	生命システム	1年
20	理事	菊地 玲子	足利市	生命システム	1年
21	理事	中山 浩	太田市	機械・電気工	1年
22	理事	今泉 文子	足利市	建築・社会基盤	1年
23	理事	影山 光男	佐野市	建築・社会基盤	1年

# 平成23年度 足利工業大学後援会予算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

## 収入の部

(単位 円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
繰越金	7,341,387	8,243,926	△ 902,539	
会費	27,500,000	30,250,000	△ 2,750,000	@25,000円
雑収入	70,000	100,000	△ 30,000	学生災害傷害保険移動返還金
計	34,911,387	38,593,926	△ 3,682,539	

## 支出の部

(単位 円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
1 運営費	2,750,000	2,950,000	△ 200,000	
会議費	1,300,000	1,400,000	△ 100,000	後援会総会・理事会等諸費用
事務費	300,000	300,000	0	事務費一般
印刷費	250,000	250,000	0	後援会会報印刷代 他
通信費	900,000	1,000,000	△ 100,000	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・「AIT通信」発送費 他
2 学生助成費	25,500,000	29,700,000	△ 4,200,000	
学生研究補助費	900,000	900,000	0	卒業研究等補助
クラブ援助費	12,000,000	13,500,000	△ 1,500,000	クラブ活動援助費
学生活動費	6,300,000	6,700,000	△ 400,000	学生自治会援助金・大学祭援助
入学・卒業記念費	3,100,000	3,500,000	△ 400,000	入学記念集合写真費・卒業生記念アルバム作成費
海外研修費	2,000,000	3,600,000	△ 1,600,000	学生海外研修補助
保険料	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	学生災害傷害保険料
3 教育助成費	5,100,000	4,900,000	200,000	
就職推進補助費	2,000,000	2,000,000	0	就職関連補助
厚生事業費	500,000	500,000	0	教育相談会関連費用
教育環境援助費	1,500,000	1,500,000	0	学内環境設備費
その他の厚生費	1,100,000	900,000	200,000	情報処理技術者試験補助・朝食補助 他
4 慶弔費	1,200,000	700,000	500,000	東日本大震災見舞金・入学式献花代・学生香典 他
5 雑費	100,000	100,000	0	
6 予備費	261,387	243,926	17,461	
計	34,911,387	38,593,926	△ 3,682,539	

## 事務局便り

去る七月九日(土)に平成二十三年度後援会総会を開催いたしました。八十五組の会員の方にご出席いただきました。ありがとうございます。ご都合により、ご出席いただけなかった方や、また、疑問・質問やご要望などがおありの方は、後援会事務局の学務課(☎〇二八四―六二一―〇九五〇)及び会計課(☎〇二八四―六二一―〇八一〇)へご遠慮なくお問い合わせください。

また教育相談会が九月十一日に大学において開催されます。是非ご参加ください。

今夏本学は、電力使用量十五%削減を達成するために、電球の間引き、クールビズ、室温二十八℃設定の徹底や、冷房効率を考え使用教室を集約するなど、教職員そして学生のみなさんとともに努力しております。毎日、前日のピーク電力使用量が知らされるのですが、今のところ、本学の使用制限値の八〇%台程度に収まり、涼しい日は更に低い数値になっています。暑さを噛み締めて、「節電の夏」を乗り越えましょう。

東日本大震災により被災された方々の一日も早い生活の再建をお祈り申し上げます。